

【質問1】

記念植樹はヨーロッパ由来のものか。

グラント大統領以外にも近代化を象徴する植樹はあったか。

【回答1】

アメリカの植樹はアーバーデイに由来する。ヨーロッパについては今後調査したい。

グラント大統領以外の近代化を象徴する植樹については、東郷平八郎の戦勝記念植樹などがある。

【提言】

東福寺の円爾聖一國師が、宋からイブキを持ち帰ったことや、建長寺のビャクシンの例など、禅寺においてはイブキの植樹が前近代から行われている。そうした事例も取り上げていくと面白いと思われる。

【応答】

禅寺の例はたいへん興味深い。なお、現在発表者は山岳信仰とつながりが深い真言宗の例を中心に検討している。特に醍醐寺では山林の経営のひとつとして植樹式を重視している。禅寺の例も今後視野に含めて考えたい。

【質問2】

長崎諏訪神社は神秘空間として成立しているので、祭祀空間としての在り方についてはもう少し詳しくみたほうがよい。

明治天皇の植樹記念などはあるのか。また、それと供養碑や記念碑との関係はどのようになっているか。

【回答2】

記念碑や記念像の研究はあるが、「生きたる記念碑」である植樹の研究はほとんどない。前近代とのつながりについては今後調査したい。

皇太子時代の明治天皇が植樹した記録はあるが、明治天皇本人が植樹したという史料は見ることがない。